



国際ロータリー第2630地区 岐阜 Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

2020-21 RIテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

クラブスローガン
伝統的日本ロータリーの文化を尊重
しつつ、新たな試みを果敢に実行する

令和2年8月25日(火)

第1361回例会 第1276号

会長 三宅 裕樹
幹事 篠田 たつゑ
発行 公共イメージ委員会
例会 火曜日 12時30分
会場 都ホテル 岐阜長良川
事務局 岐阜市神田町2-2
電話 058-264-9235

必達！！第1例会出席率 100%

必達！！年間例会出席率 90%

ガバナー公式訪問 合同例会・GTM

ガバナー参加による オンライン合同例会

受付：12時30分～

点鐘：13時00分

ホストクラブ会長挨拶

岐阜北RC会長 前田 吉彦様

皆様、こんにちは。本年度、ホストクラブを務めさせていただきます、岐阜北ロータリークラブの会長の前田でございます。ホストクラブを代表しまして、まずは、ご参加いただいておりますロータリアンの皆様にお礼を申し上げます。

今年度の合同例会も昨年までと同様の集合例会をしたいところですが、皆様ご存じのとおり、コロナウイルスの感染防止のため敢えてバーチャルな合同例会となりました。ある意味、苦渋の選択となったことをご理解いただけますと幸いです。この例会はZOOMというアプリケーションを使った、新しい例会です。上手くできますように、何回もリハーサルと機材

テストを行い、徐々に上手くいくようにはなりましたが、その度にもっと良くなるかとの変更を重ねています。ただ、初めての試みで不慣れたことについては事実です。準備も含め、当然の努力をしまいましたが、正直、心配でたまりません。

ご参加の皆様のご協力とロータリーの友情をもってご参加いただけますことを切にお願いいたしまして、ホストクラブ会長の挨拶とさせていただきます。皆様、よろしくお願いいたします。

グループトレーニングミーティング

点鐘：14時00分

GTM開会挨拶

岐阜Aグループガバナー補佐

永瀬 章 様

皆様、こんにちは。2020-21年度第2630地区岐阜Aグループのガバナー補佐を拝命いたしました岐阜北ロータリークラブの永瀬 章と申し



ます。この一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度はコロナ禍の中、岐阜AグループのGTM（グループトレーニングミーティング）ならびに、ガバナー公式訪問合同例会をオンライン会議の形式で開催させていただきます。この会議は会員が3密を避け、一同が1か所に集合することができない現在、目の前に、会員はいませんが、オンラインで多くの会員と結ばれます。会議での発言は会長、幹事、研修リーダーに限られ、他の会員には発言の機会はありませんが、会議を傍聴することで、参加していただきます。この度、岐阜Aグルー

前例会の記録

第1360回

2020年8月22日（土）

【点鐘】 12時30分

【ソング】 君が代・奉仕の理想

【ゲスト】

【ビクター】

【出席】 会員総数30名（出席免除 7名）

本日出席21名 91.30%

【行事】 『ガバナー公式訪問

GTM 』

担当 会長

次回予定

第1362回

2020年9月1日（火）

【点鐘】 12時30分

【行事】 研修例会 卓話

アジア保健研修所 林 かぐみ様

担当 国際奉仕委員会

プとしては初めてのオンラインでの会議であります。運営に関し、不行き届きの面も多々あると思いますが、ロータリーの好意と友情でご容赦ください。なお、劔田ガバナーはオンラインの趣旨をご理解いただき、高山からオンラインでの参加です。ガバナーは日頃より例会出席の重要性を強調しておられます。ロータリーの真髄でもある職業奉仕を学ぶ道場が例会であり、自分を磨くため、例会に出席することが大切であると仰っています。

そこで、本日の GTM においては、このことを念頭に置いて各クラブ、会長は、『コロナ禍におけるクラブの運営』、幹事は『コロナ禍における会員増強』、そして、クラブ研修リーダーは『昨年の実績と研修の必要性について』発表願います。

本日は、直接対話はできませんが、今後、このようなバーチャルな世界に移行するかもしれません。有意義な一日となることを願って、挨拶とさせていただきます。

ガバナー挨拶

第 2630 地区ガバナー 劔田 廣喜 様

今年は日本にロータリーが誕生して100周年の記念すべき年であります。日本のロータリー100周年実行委員会がクラブ運営の課題について、アンケート調査をいたしました。その結果、クラブ運営の課題は、①例会、委員会活動のマンネリ化 ②ネット対応の不十分 ③ロータリーの研修不足とクラブ内でのロータリーの研修不足、が課題の3番目に来ています。また、国際ロータリーはロータリアンの退会が顕著になってきたということで、その原因を分析していくと、せっかく入会してもらったのに、ロータリーの良さをよく分かってもらえず、短期間で退会していかれている方が多いという事実が出てきました。そこで、退会防止のためには、ロータリーの良さをキッチンと伝えていくことが重要であるということになり、各クラブに研修リーダーを定め、研修リーダーが中心に

なり、会員に研修を実施していこうということになったわけです。当地区においても前年度よりクラブ研修リーダーの設置をお願いしております。

近年、新会員も古くからの会員も含め、ロータリーの知識が欠如しているロータリアンが多くみられます。これは、クラブが徹底した定期研修を継続的に提供していないことに起因していると思われます。ロータリーについての知識を持った良い指導者のいるクラブでは価値あるプロジェクトに多くの会員が関わり、ロータリアンとしての充実感を体験して、質の高い例会を実践しているのです。結果として会員を育て、会員基盤を維持し、退会防止につながっています。

クラブ運営はロータリーの根幹です。例会はロータリーの魅力、ロータリアンの成長の場をもたらすところでもあります。そのためにはクラブの親睦と学び研修が大きな要素となります。そこで、今年度、研修リーダーを中心にグループ研修していこうというのが、GTM (グループ・トレーニング・ミーティング) の趣旨であります。

ただ、今年はコロナ禍により例会が数カ月休会を余儀なくされ、いまだに、フェース TO フェースの例会が開催できない現状であります。クラブ研修リーダーの皆様も活動できない状態だと思います。当初の趣旨のようにできないと思いますが、理念、目的を共にする仲間が集まって学ぶことは大変意義あることと考えます。

最近はロータリー活動が多面的になり、新しい会員には、ロータリーとは何であるか余程よく説明しないと、ロータリーが何であるかわからないまま、あるいは終わってしまうことにもなりかねないと危惧しています。単に定款・細則やロータリー用語の解説に終始することなく、会員自身がロータリーに興味を持ち、自らがもっとロータリーを知ろうとする、そして、一人でも多くの会員にロータリーが好きになるきっかけを与えることが大切ではないでしょうか。こうしてロータ

リーを知ることにより、ロータリーに情熱を燃やすようになり、意欲的なロータリアンになるものと思われます。

本日がその機会の扉を開くことを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

各クラブ会長による発表

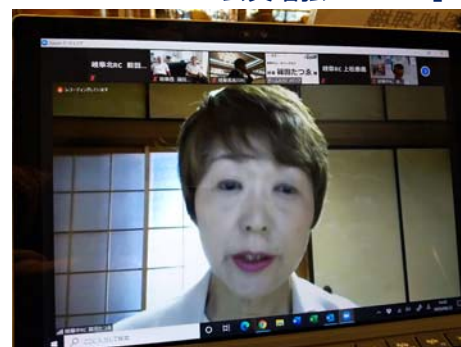
テーマ「コロナ禍におけるクラブ運営について」



会長 三宅裕樹

各クラブ幹事による発表

テーマ「コロナ禍における会員増強について」



幹事 篠田たつる



サテライト会場風景